

雪がた

— 豊科病院だより —

豊科病院広報誌

平成25年 6月28日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

5月13日に、自立訓練（生活訓練）宿泊型自立訓練事業所「アルプスホーム」が豊科病院から東に400メートル程の地にオープンしました。

この施設の前身は「援護寮アル



「アルプスホーム」
リニューアルオープン!

プスドミトリ」です。平成6年から現在の場所での精神保健福祉法を基盤とした精神障害者社会復帰施設（生活訓練施設「援護寮」として運営してまいりましたが、同法の改正に伴い精神障害者社会復帰施設が廃止となったため、平成24年4月より障害者自立支援法の自立訓練事業所「アルプスホーム」として心機一転運営を行うことになりました。

しかし、その平成24年4月から、道路拡幅工事に伴い施設を建て直すことになったため、市内穂高のアパートに一時的に移転し、日中の自立訓練（生活訓練）事業を運営していました。この度、施設の竣工を迎え、約1年間の穂高での生活から再び

豊科の地に戻ってまいりました。

事業内容

新しいアルプスホームでは、自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練事業所という名前のおお、2つの事業を行っています。一つ目は穂高で行っていた「日中の自立訓練(生活訓練)」であり、そこに「宿泊型自立訓練」という二つ目の事業が追加されました。

「日中の自立訓練(生活訓練)」の利用対象者は、精神障害をお持ちの方で、地域生活を営む上で生活能力の維持向上のため、一定の支援が必要な方です。生活訓練としてその方に合った生活技術の向上と、余暇の充実を目的として簡単な調理やスポーツ、外出等の様々な集団プログラムや個別プログラムを行っています。その他生活等に関する相談及



3名に1つずつある居間

び支援を行います。施設外の地域から通われる方もいれば、施設内(宿泊型)から、この日中の自立訓練(生活訓練)に通われる方もいます。

「宿泊型自立訓練」の利用対象者は、日中、就労や障害福祉サービスを利用している精神障害をお持ちの方で、地域移行に向けて一定期間居住の場を提供して帰宅時における生活能力等の維持向上のための訓練等の支援が必要な方となっております。朝と夕方の食事を提供し、生活リズムや、日常生活能力の向上を目的として相談、支援を行っています。

利用Q&A

Q1 定員は?

A 自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練、それぞれ20名です。

Q2 宿泊型自立訓練の1か月の利用料はどのくらいかかるの?

A 家賃1万5千円、共益費2千円、光熱水費は実費をご負担いただきます。加えて食費 朝1食300円 夕1食500円 市町村が

らの補助制度がある場合は朝1食300円 夕1食200円)がかかります。

市町村の支給決定の内容により、利用者負担が生じる場合もありますが、1ヶ月分の利用料として施設にお支払いいただく額の目安は4万円前後になる方が多いと思います。

Q3 入所利用はどのくらい?

A 日中の自立訓練(生活訓練)は原則2年、宿泊型自立訓練は原則3年が利用期限です。

Q4 職員体制はどのようなもの?

A 6名の職員が勤務しています。職種はサービス管理責任者、生活支援員、食事担当職員です。毎日朝7時〜夜7時まで交代で勤務しています。

Q5 入所されている方はどんな生活をしているのですか?

A 宿泊型自立訓練に入所され、それぞれのペースで日中の自立訓練(生活訓練)を利用されて

いる方がほとんどです。週のうち何日かは一般就労や、地域の就労継続支援B型事業所 作業所へ出掛けられる方もいます。

Q6 アルプスホームの特色は?

A 日中の自立訓練(生活訓練)では、週2回「簡単な調理」というプログラムがあります。「手をかけず美味しくバランスの良い食事を」をコンセプトに職員がレシピを探して皆さんに作っていただきます。アルプスホームを退所された後の生活に活かして頂きたい、というねらいがあります。

宿泊型自立訓練の設備の特徴としては、二人で一つのユニットで生活して頂くところです。居室はもちろん個室ですが、ユニット毎に玄関があり、リビング、簡易キッチン、トイレ、浴室等が設置されており、三人共同でご利用いただいています。人間関係が難しい、と悩まれる方もいますが、適度なプライバシーを保障しながら、身近な生活で社会性を身につけて頂くというねらいがあります。

アルプスホームの職員 よりメッセージ

百聞は一見に如かず、是非実際に見ていただきたいと思えます。職員8名中、5名が4月から新規採用で勤務しております。施設も職員もフレッシュなアルプスホームに是非一度お越しください。

★お問い合わせはこちら

◆自立訓練(生活訓練) 宿泊型自立
訓練事業所 アルプスホーム

住所：長野県安曇野市豊科南穂高
3046-1
電話：0263-72-6212

新年度式



4月1日、新年度式において、五味涿院長による訓示、そして、豊科病院5名、安曇野メデイア4名、アルプスホーム5名、の昇格および

び配属辞令の交付が行われました。

院長は、精神科医療におけるパターンリズムを例に挙げ、①医療業務に携わる者に求められる態度やサービスマンに從事していることの意味、②目の前の患者様・利用者様から学ぶことの大切さ、③医療従事者としての自身を振り返ることの重要性、の3点を職員に示しました。

お楽しみ献立 はじめました!

例年、豊科病院では、行事食の一环として『バイキング給食』というものを行なっており、フランス料理のフルコース・たこやき・アイスクリーム・豚しゃぶしゃぶ・手巻き寿司などの多彩なメニューを提供してきました。患者様にも大変好評で、とても楽しみにしていたださっていました。普段と少し違う雰囲気です。料理が、その場でできたの料理が食べられることなど『バイキング給食』にはたくさんメリットがあります。しかし、最近患者様の中には車イスの方もいらっ

しやり、バイキングでは一部の方にしか提供できないという問題も出てきています。また、バイキングは一つの病棟でしか対応できないため、患者様にとっては年に一回しか楽しみが無いというデメリットもありました。

そこで、今年度は新しい企画として『お楽しみ献立』というものをはじめました。それは、全病棟を対象として、患者様方にいただいたリクエストや旬の食材をもとに献立を提案するという企画です。当日は食事療養部総出で取り組み、普段はなかなか応えられないリクエストにも応えていきます。全病棟が同じ給食を食べることができるよう、普段通りの配膳で良いため、『バイキング給食』のデメリットを克服していける企画です。

5月末、第一回のお楽しみ献立を行いました。メニューは、手巻き寿司・春になり寿司・すまし汁・フルーチェです。粥食の方々には御寿司の代わりに海鮮盛り合わせを提供しました。どの病棟の患者様からも「おいしいよ!」と大好評でした。ポリユームのある手巻き寿司やいなり寿司もきれいに召し上がってくださったのは、普段はお粥を後に

残してしまう患者様が、お粥を真っ先に召し上がったことでした。初めての試みなので改善点はありますが、全員の患者様においしく召し上がっていただけることはとても嬉しかったです。新しいメニューや普段はあまり提供できないものにも挑戦し、たくさんの方の『食べたい』という気持ちに答えていきたいと思っています。

次回は7月末。夏らしいメニューを考案中ですので、どうぞお楽しみに☆
リクエスト、どしどしお待ちしております。

(食事療養部)





当院は安曇野市の春の一斉清掃に毎年参加しています。今年は業務の都合上、5月24日に参加させていただけました。

清掃の範囲は、国道147号の新田の交差点から、田沢街道の近代美術館の信号までの約500mの両側道。草刈りやゴミの空き缶拾いを中心に清掃を行いました。



外来 医師担当表

平成25年 6月現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざとよしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師 又は なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師
内科	うえの ひみか 上野 史香 医師	休 診	ささき みほ 佐々木 美保 医師	休 診	休 診	休 診

- ◎ 受付時間 午前 8:00 ~ 正午
- ◎ 診療時間 午前 9:00 ~ 終了まで
- ※ 午後は全科**休診**となります。
- ※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～・ 編集後記 ・～

豊科病院広報誌「雪がた」第27号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？

6月下旬ころよりようやく梅雨らしくなり、雨とともにアルプスの残雪もほとんど見られなくなってきました。そして、季節の変わり目で寒暖の差が大きいこの時期は、体が暑さに慣れずに熱中症や脱水をおこしやすいので体調管理にはくれぐれも注意してください。

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。